# 筆ぐるめで

Ver.15

## オリジナル年賀状を作ろう！

発売元●富士ソフト株式会社
URL●http://info.fsi.co.jp/fgw/

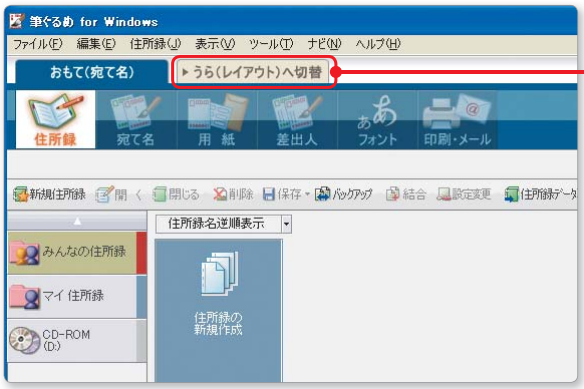
●他のバージョンでは？
最新版のVer.16、旧版のVer.14～12での操作方法は付属CD-ROMの「困ったときは」を参照してください

## ●年賀状作成の準備をしよう

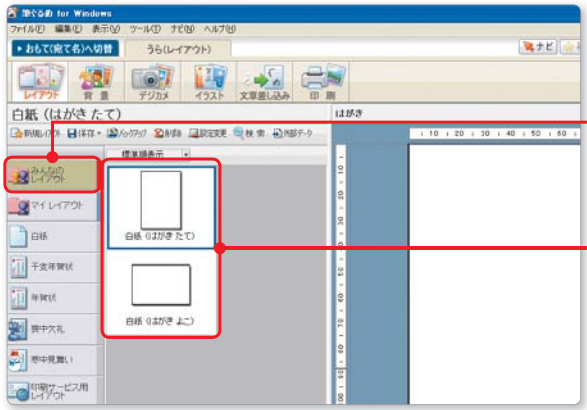
● 筆ぐるめ

**まずは年賀状を作る準備から始めます**

**1** 「筆ぐるめ」を起動し、[うら（レイアウト）へ切替]タブをクリックして、裏面作成画面に切り替えます。




**2** [みんなのレイアウト]をクリックしてハガキの向きを選択します。




### Column

### 「筆ぐるめナビ」画面が表示される場合

設定によっては、「筆ぐるめ」を起動したときに「筆ぐるめナビ」画面が表示されることがあります。本書ではこの画面は利用しないので、[閉じる]ボタンをクリックして「筆ぐるめナビ」画面を閉じます。

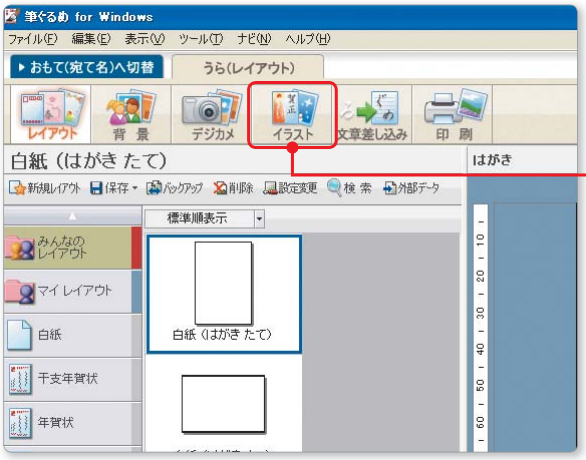
◀「筆ぐるめナビ」画面が表示された場合は閉じる

# ●「完成年賀状」で年賀状を作ろう

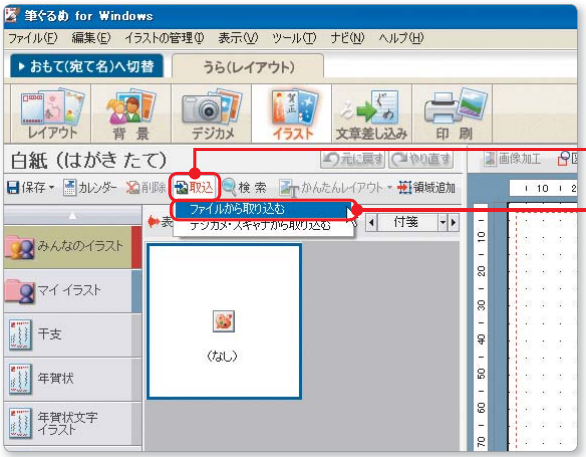


**本書p.4〜65の「完成年賀状」を使えば手軽に年賀状を作ることができます**

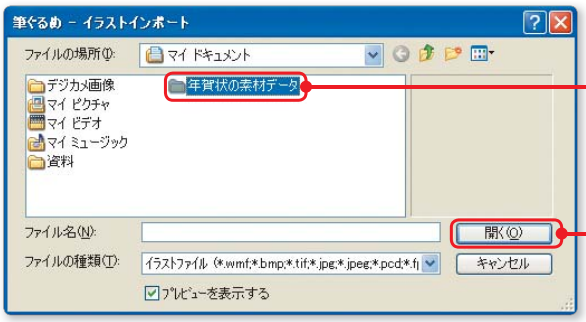
**1** 「完成年賀状」を挿入します。ツールバーの［イラスト］ボタンをクリックします。




**2** ［取込］ボタンをクリックし、メニューから［ファイルから取り込む］を選択します。




**3** あらかじめ付属CD-ROMからパソコンにコピーしておいた「完成年賀状」が入っているフォルダを選択します。

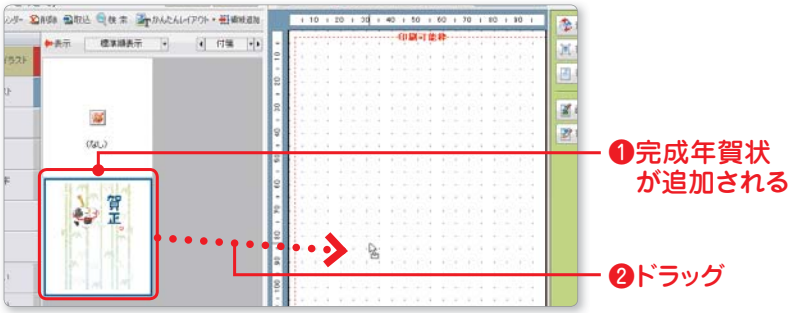



**注意** 素材データを、付属CD-ROMからお使いのパソコンにコピーする方法は、p.167を参照してください。

**4** 挿入する「完成年賀状」を選択して、［開く］ボタンをクリックします。

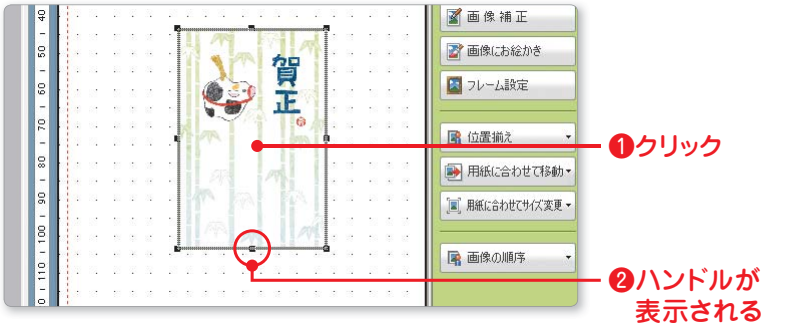
## 5

画面左側に「完成年賀状」が表示されるので、右のハガキ上へドラッグします。



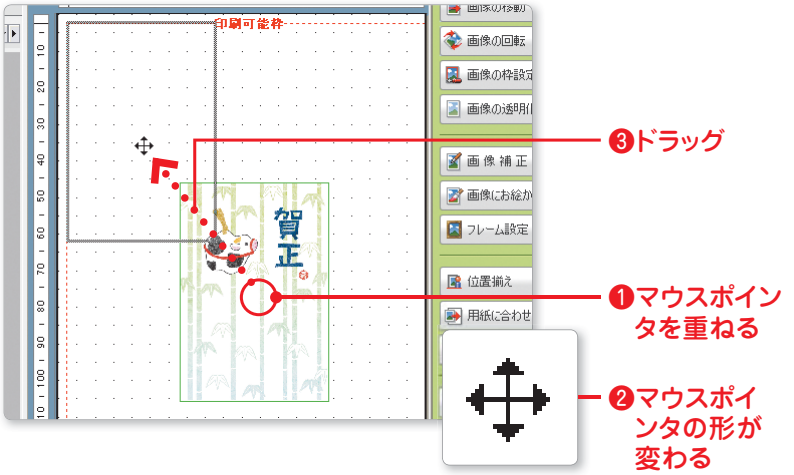

## 6

サイズや位置を変更するには、「完成年賀状」をクリックして、■（ハンドル）の付いた枠線を表示します。



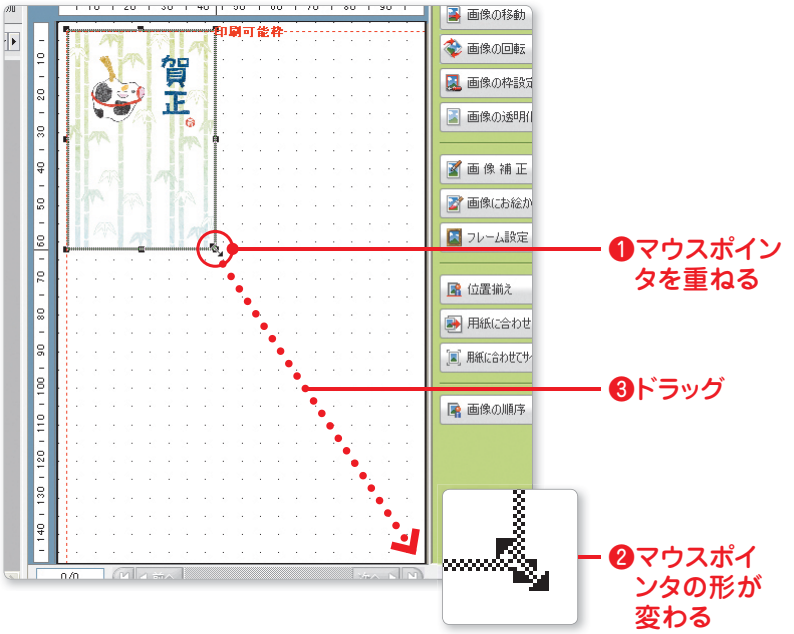

## 7

位置を変更するには、「完成年賀状」にマウスポインタを重ね、形が変わった状態でドラッグします。




## 8

サイズを変更するには、ハンドルにマウスポインタを重ね、形が変わった状態でドラッグします。

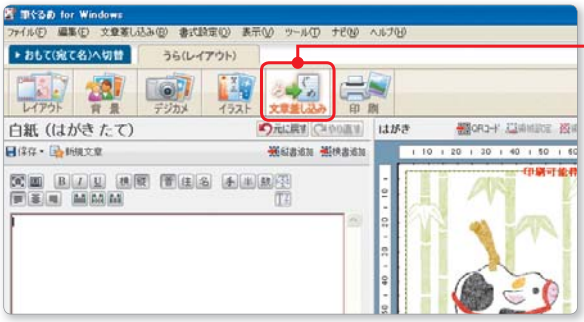



**注意** 縦横比率を変えずにサイズ変更するには、四隅にあるハンドルを操作します。

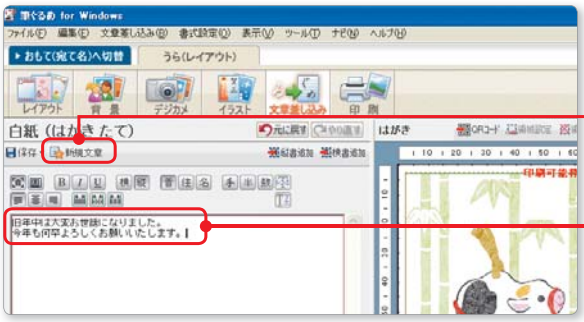
# ●文章を挿入しよう

**相手に合わせた文章を挿入して、気持ちのこもった年賀状を作りましょう**

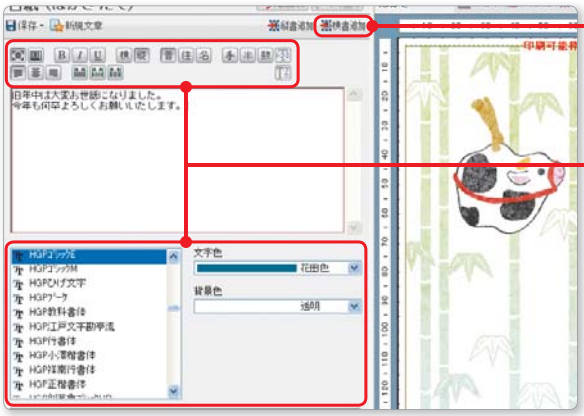
**1** ツールバーの[文章差し込み]ボタンをクリックして、文章入力用の画面に切り替えます。



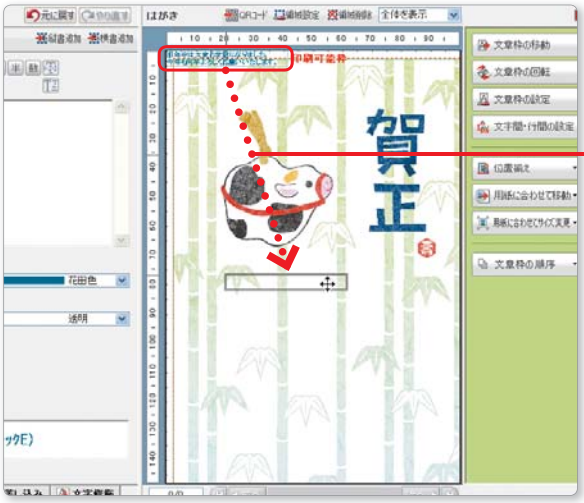

**2** [新規文章]ボタンをクリックしてから、テキスト編集ボックスに挿入したい文章を入力します。




**3** 書式を設定し、[縦書追加]ボタンをクリックすると縦書きのテキストボックスが、[横書追加]ボタンをクリックすると横書きのテキストボックスが、それぞれハガキ上に挿入されます。



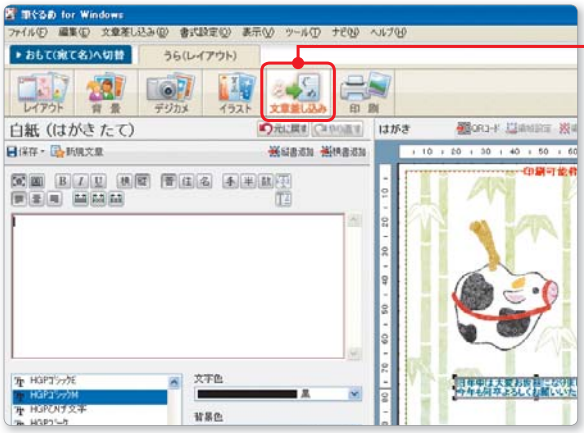

**4** 挿入されたテキストボックスは「完成年賀状」と同様の手順(p.174)で、サイズや位置を変更できます。




**注意** 文字のサイズはテキストボックスに合わせて自動的に変更されます。

## 5

文章や書式を変更するには、ツールバーの［文章差し込み］ボタンをクリックします。

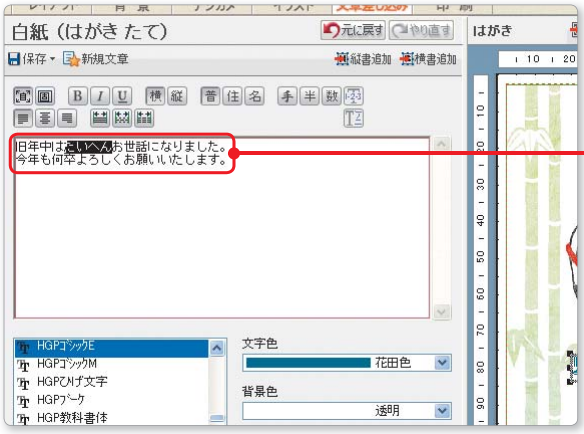



## 6

文章入力用の画面に切り替わったら、変更したい文章のテキストボックスをクリックします。

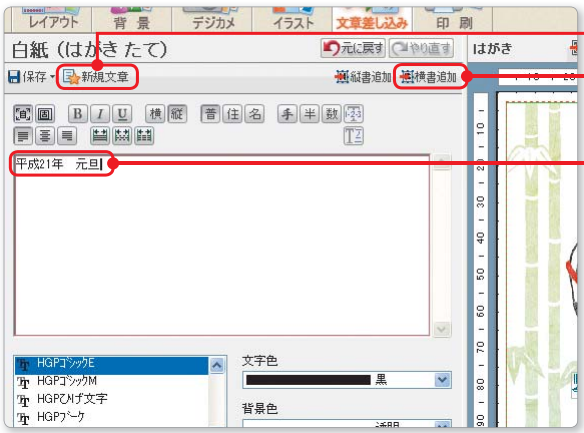
## 7

入力した文章がテキスト編集ボックスに表示されるので、文章や書式を変更します。




## 8

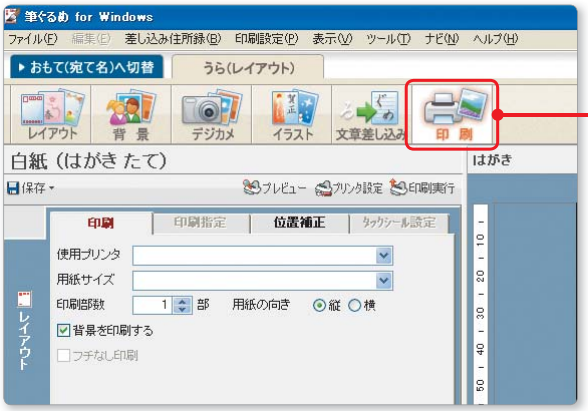
文章を追加する場合は、まず［新規文章］ボタンをクリックしてから、文章と書式を設定し、［横書追加］ボタンをクリックします。



# ●年賀状を印刷・保存しよう

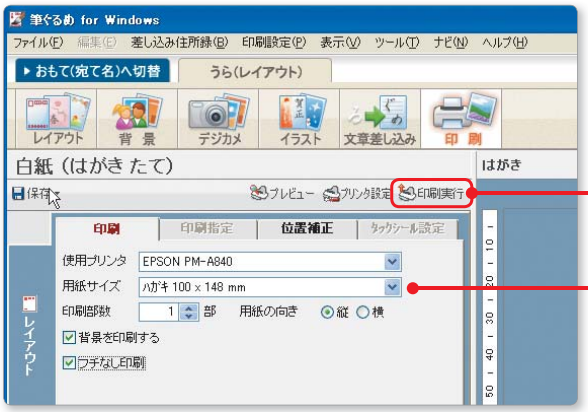
**印刷したら年賀状は完成です。作った年賀状は必ず保存しておきましょう**

**1** 年賀状を印刷するには、[印刷]ボタンをクリックします。



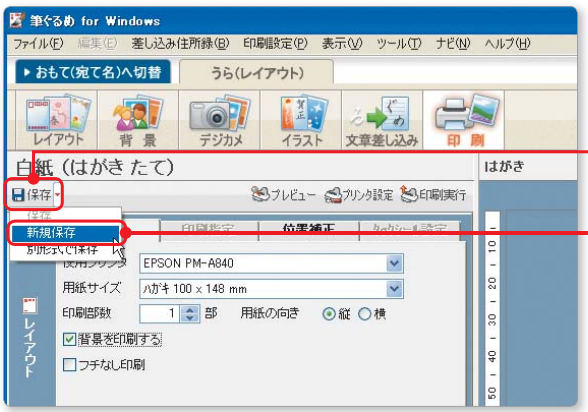

**注意** 印刷するにはお使いのプリンタを正しく設定しておく必要があります。プリンタの取扱説明書を参照してください。

**2** 使用プリンタや印刷部数を設定してから、[印刷実行]ボタンをクリックします。

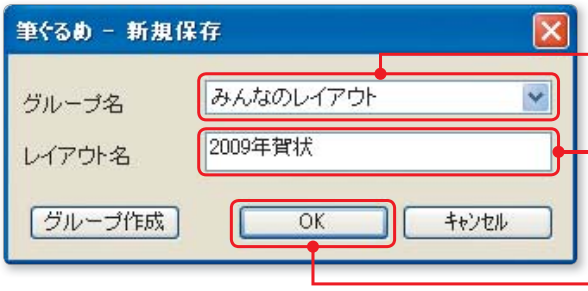



**注意** 警告画面が表示される場合は、レイアウトを変更してから再度印刷を実行してください。

**3** 年賀状を保存するには、[保存]ボタンをクリックし、メニューから[新規保存]ボタンを選択します。




**4** 「新規保存」画面で[グループ名]を選び、[レイアウト名]を入力してから、[OK]ボタンをクリックします。




**注意** グループ名は「みんなのレイアウト」か「マイレイアウト」を選択します。開くときはツールバーの[レイアウト]ボタンをクリックして、画面左の[みんなのレイアウト]か、[マイレイアウト]から自分で付けたレイアウト名を選択して開きます。

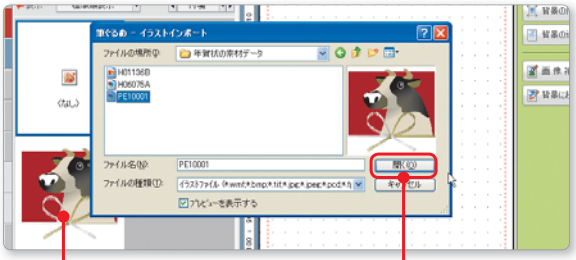
# ●「パーツ」を組み合わせて年賀状を作ろう

● 筆ぐるめ

**本書p.88〜149の「パーツ」を複数組み合わせれば、オリジナリティあふれる年賀状を作ることができます**

## 1

組み合わせて使いたい「パーツ」を、「完成年賀状」と同様の手順（p.173）で画面左側に表示させ、右のハガキ上へドラッグして挿入します。

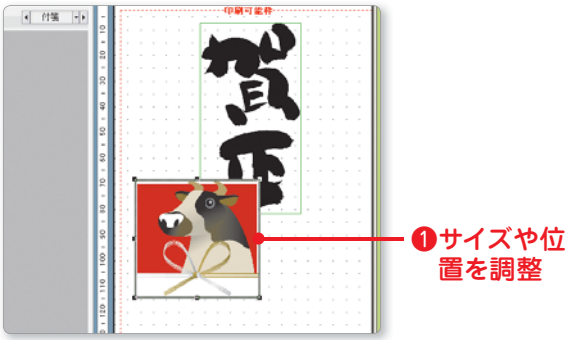



**注意**

複数の「パーツ」を組み合わせて合成するときは、PNG形式のデータを利用すると簡単です。PNG形式について詳しくはp.167を参照してください。

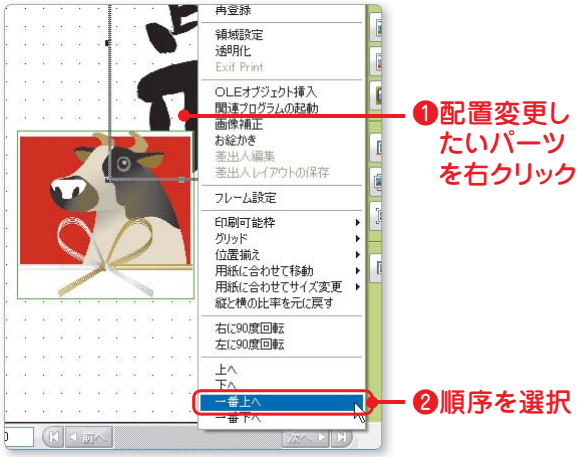
## 2

「パーツ」のサイズや位置を、「完成年賀状」と同様の手順（p.174）で調整します。



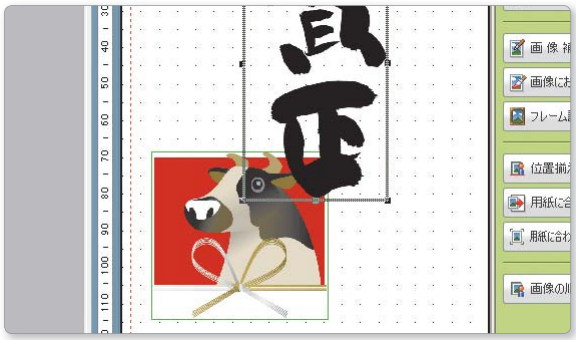

## 3

「パーツ」同士の重なり順を変更するには、変更したい「パーツ」を右クリックし、メニューから変更する順序を選択します。




## 4

手順3で選択した順序に、「パーツ」の重なり順が変更されます。



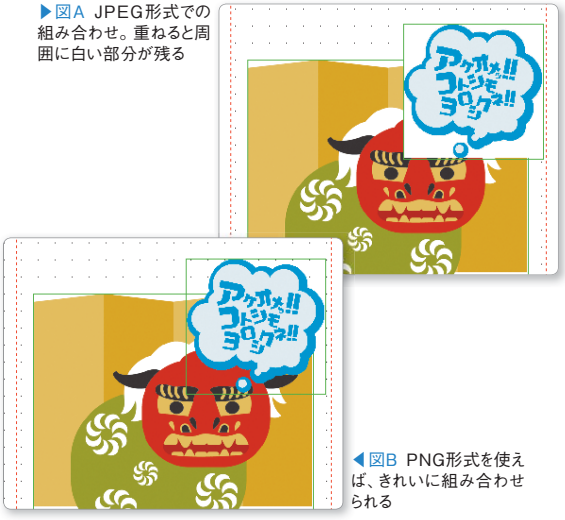
## Column

### 下に配置したイラストが欠けるときは？

図Aのように背面の「パーツ」が欠ける（白い部分が残って背面が見えない）ときは、PNG形式の「パーツ」を使用しましょう。「パーツ」は同じ絵柄でJPEG形式とPNG形式の2種類が収録されています。JPEG形式を使用すると図Aのようになり、PNG形式を使用すると図Bのようになります。詳細はp.167を参照してください。

なお、バージョン11以前の「筆ぐるめ」はPNG形式に完全対応していないので、背景が透明化されない、PNG形式の画像を取り込めないなどの問題が発生します。JPEG形式の画像を使用し、「筆ぐるめ」の取扱説明書を参照して背景を透明にするなどの方法をとってください。

▶図A JPEG形式での組み合わせ。重ねると周囲に白い部分が残る



◀図B PNG形式を使えば、きれいに組み合わせられる

# ●デジカメ写真を追加しよう



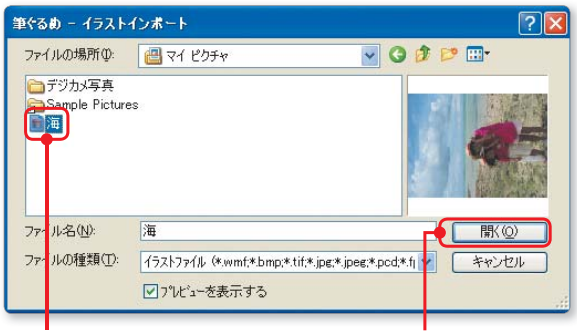
**今年の思い出や家族の近況を伝えるには写真が一番。年賀状にデジカメ写真を追加してみましょう**

## 1

ツールバーの［デジカメ］ボタンをクリックします。［取込］ボタンをクリックし、メニューから［ファイルから取り込む］を選択します。

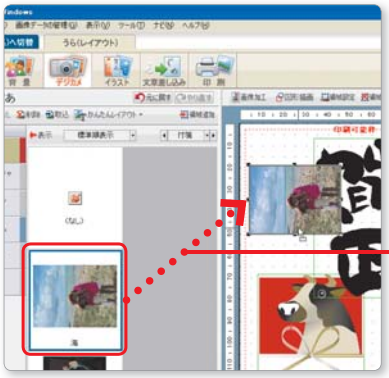
## 2

「イラストインポート」画面で年賀状に挿入したいデジカメ写真を選択します。



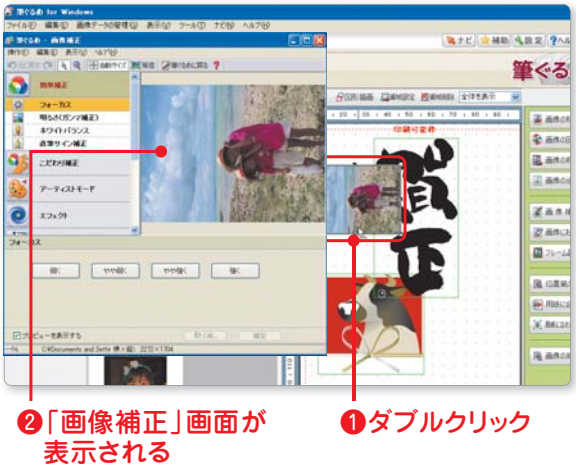

## 3

画面左側に表示されたデジカメ写真を、ハガキ上にドラッグして挿入します。



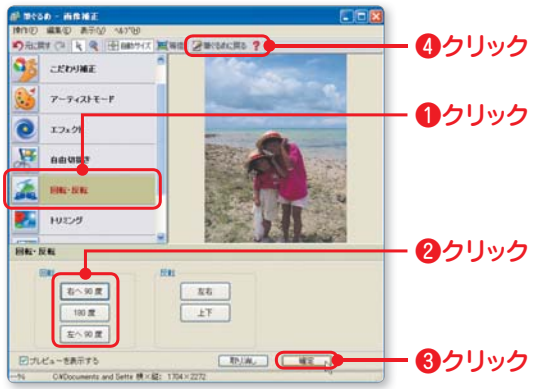

## 4

デジカメ写真の向きを変えるには、デジカメ写真をダブルクリックして、「画像補正」画面を表示します。



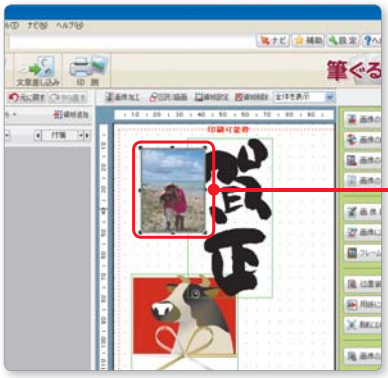

## 5

［回転・反転］をクリックしてから、画面下側に表示されるボタンをクリックすると、デジカメ写真の向きが変更されます。

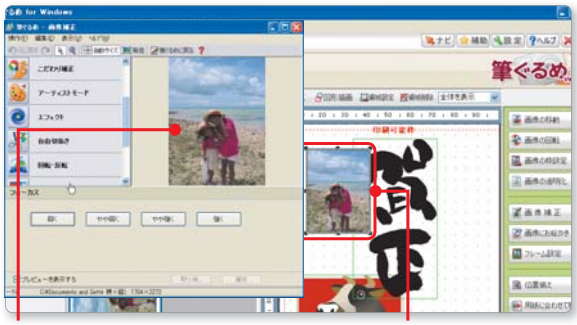



## 6

デジカメ写真は、「完成年賀状」と同様の手順（p.174）でサイズや位置を調整できます。

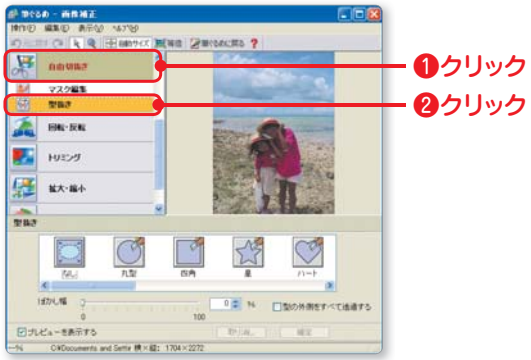


**7** デジカメ写真の余計な部分を切り抜くには、デジカメ写真をダブルクリックして、「画像補正」画面を表示します。



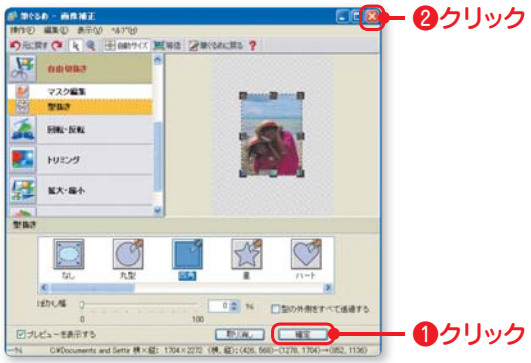
❷「画像補正」画面が表示される ❶ダブルクリック

**8** [自由切抜き]→[型抜き]の順にクリックします。




**9** 切り抜く形を、画面下の[型抜き]より選択してから、ハンドルをドラッグして切り抜く範囲を選択します。

**10** [確定]ボタンをクリック後、「画像補正」画面を閉じます。「今回の編集を筆ぐるめへ反映しますか？」というメッセージ画面が出たら、[はい]をクリックします。

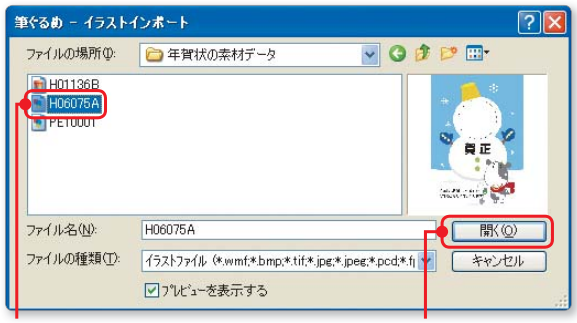



## ●「デジカメ合成年賀状」を作ろう

● 筆ぐるめ

**本書p.66〜87の「デジカメ合成年賀状」を使えば、より簡単に楽しいデジカメ合成ができます**

**1** 「完成年賀状」と同様の手順(p.173)で、「デジカメ合成年賀状」を画面左側に挿入します。




❶デジカメ合成年賀状を挿入 ❷クリック

**注意** 「デジカメ合成年賀状」はJPEG形式ではなく、PNG形式のデータを利用しましょう。PNG形式について詳しくはp.167を参照してください。

**2** 「完成年賀状」と同様の手順(p.174)で、「デジカメ合成年賀状」をハガキ上へドラッグし、サイズや位置を調整します。

❶ドラッグする ❷サイズや位置を調整

## 3

組み合わせて使いたいデジカメ写真を、p.179と同様の手順で一覧に追加してから、ドラッグして挿入します。

## 4

写真のサイズと位置を、「デジカメ合成年賀状」の窓部分と合うように調整します。

**注意** 「デジカメ合成年賀状」の窓のかたちに合わせて写真を切り抜いておくと、作業がしやすくなります（p.180）。

## 5

上（前面）に配置する「デジカメ合成年賀状」を選択して右クリックし、メニューから［一番上へ］を選択します。

**注意** 「デジカメ合成年賀状」の配置を変更できないときは、背景として取り込んでいることが考えられます。上部の［背景］ボタンをクリックし、背景画像を［なし］にしてから［イラスト］ボタンをクリックし、再度「デジカメ合成年賀状」を取り込んでください（p.173）。

## 6

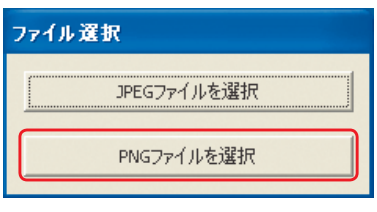
デジカメ写真がピッタリの位置に収まったら完成です。

**注意** 手順5のあと、デジカメ写真が隠れて見えなくなってしまう場合は、下のコラムを参照してください。

### Column

#### 窓部分で写真が透けないときは

「デジカメ合成年賀状」の窓部分が白いままで、背面にある写真が見えなくなってしまうときは、JPEG 形式の「デジカメ合成年賀状」を使用していることが原因です。PNG 形式の「デジカメ合成年賀状」を使用してください。JPEGとPNGについての詳細はp.167を参照してください。




▶「デジカメ合成年賀状」ではPNGファイルを選択しよう（p.167参照）

#### 写真のズレを直すには

「デジカメ合成年賀状」の窓部分に写真がうまく収まらなかった場合は、手順6から4を逆にたどるように、一度「デジカメ合成年賀状」を一番下に戻してから、写真のサイズと位置を調整するとよいでしょう。

#### 写真は必要部分を切り抜いて使おう

「顔はめ」のようなデザインの「デジカメ合成年賀状」に写真を数枚組み合わせたいときは、「デジカメ合成年賀状」の窓部分に合わせて、余計な部分をギリギリまで切り抜きます（p.180参照）。そうすれば、写真同士の重なりがなくなり、あとで位置のズレを調整したいときも、比較的簡単にできます。